

4階回復期リハビリテーション情報

2026/1/1現在

I. 退棟患者数（令和7年10月～12月）

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数	61 名
② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	58 名

③	②の状態患者の内訳	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後	17 名	29.3 %
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等	20 名	34.5 %
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	20 名	34.5 %
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	1 名	1.7 %
5	股関節又は膝関節の置換術後	0 名	0.0 %

II. 実績指数（前月までの6か月間）各年度4月、7月、10月、1月に算出

④	実績指数（⑥/⑦） 令和7年7月～令和7年12月	57.39
⑤	実績指数の計算対象とした患者数	82
⑥	⑤の患者の退院時のFIM運動項目の得点から入棟時のFIM運動項目の得点を控除した総和	2,523
⑦	⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和	43.96

実績指数 =
$$\frac{\text{⑥ 各患者の（FIM得点〔運動項目〕の、退棟時と入棟時の差）の総和}}{\text{⑦各患者の} \left[\frac{\text{入棟から退棟までの在棟日数}}{\text{状態ごとの回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数}} \right] \text{の総和}}$$